

平成30年度第1回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 平成30年5月17日 午前10時00分～11時00分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

東川 薫（委員長）

伊藤由美子（副委員長）

赤木 邦男

佐藤 久善

藤田 素弘

事務局（7名）

早川 晴美（契約監理課 課長）

種村 悟（〃 課長補佐兼検査指導係長）

蒔田 宏之（〃 課長補佐兼契約調達係長）

伊藤 美紀（〃 契約調達係）

森 浩木（上下水道部 次長兼企画総務課 課長）

小林 修（〃 課長補佐兼総務係長）

安達 貴雅（〃 総務係）

工事担当課（6名）

栗原 繁憲（上下水道部 工務課 課長）

西田 勝彦（〃 主幹）

佐藤 正弘（駅周辺整備課 課長）

大中 桂介（〃 管理係）

佐藤 良治（土木課 課長）

加古 勇司（アセットマネジメント課 主幹）

事 項

1 開 会

【事務局】

本日は、ご多用の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、「平成30年度第1回入札監視委員会」を開催させていただきます。

最初に、総務部長からご挨拶申し上げます。

【事務局】

おはようございます。総務部長の平野です。早くからお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日、また、抽出議案の審議をお願いするわけですが、本日の案件の中にも駅周辺の事業というのを上げさせていただいています。ご存じの方もみえるかと思いますが、駅前のところが鉄道利用をしていただいて、今、大きく様変わりしておりまして、今回、取り上げていただく案件の中でもご説明を差し上げますが、今、工事着手がいよいよ本格的に始まりまして、32年オリンピックの年に一応供用開始で、東西自由通路を今、造っておるところです。延長170メートルほどで、高架の幅員としては、6メートルほどのものになります。全体を屋根で囲いますので、そういった自由通

路に駅の改札口と一緒にジョイントしてくるという形のものです。駅舎自体も80メートルほど南側にくるという形で、かなり桑名の玄関口が変わるという状況です。

病院も今、オープンしておりますし、駅西のほうでも区画整備もやっています。

東側も同時にこれから見直しをしていく形、かなり駅中心のところが、大規模に変えようというような動きで取り組んでいているところでございます。そうした中での案件もございますので、よろしくご審議を賜りたいと思います。

【事務局】

本日の議題につきましては、お手元の事項書に沿って進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会では、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、東川委員長からご挨拶を頂戴したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

お忙しいところをお集まりいただき、ありがとうございます。

今、部長からもご挨拶がございましたように、大きい工事も桑名も含めた、オリンピックを目指して全国的に増えていると思うんですが、その中でも偶然、きょうの抽出案件にも、今まではなかったもので、非常に新しいところですが、入札の不調の関連の案件なども上がっておりますので、社会的にいろんな動きがあるようですので、この委員会も継続してしっかりとやっていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

【事務局】

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、東川委員長に議事進行をいただきたいと思います。

【委員長】

それでは、事項書に従いまして議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、先ほど、お伺いしたところでは、傍聴の希望者がいらっしゃるようです。本日の会議も日頃と一緒に、一般公開としておりますので、これ以降の審議につきまして、傍聴を希望される方がいらっしゃいますので、許可したいと思いますので、いかがでしょうか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それでは、傍聴人の入場のため、しばらくお待ちください。

[傍聴人の入室]

【委員長】

傍聴される方、お待たせいたしました。本委員会の写真等映像につきましては、頭出し部分に限らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速、審議に入りたいと思います。議事の(1)平成30年度入札制度改正につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

2 議 事

(1) 平成 30 年度入札制度改正について

【事務局】

それでは、(1) 平成 30 年度入札制度改正について説明させていただきます。資料の 1 ページをご覧ください。

桑名市請負工事入札参加者指名停止基準の一部改正を行い、平成 30 年 4 月 1 日以降に決定を行う指名停止につきまして、新しい基準での措置を講じることとなりました。

「1 主な改正内容」でございますが、(1) 三重県が平成 29 年 7 月 1 日に、中央公契約連絡協議会モデルに準拠し、改正を行い、指名停止期間がおおむね 2 分の 1 程度に短縮されることになりましたので、桑名市も同様に中央公契約連盟モデル及び三重県の基準に準拠し、改正を行いました。

続きまして、(2) 再犯加重措置の適用方法についてでございますが、「贈賄」、「独占禁止法違反」、「公契約関係競売妨害、又は談合」についての指名停止措置期間の満了の遡及期間を、これまで 10 年と規定していましたところ、3 年へと変更を行いました。

そのほかの件につきましては、現行の 1 年のままでございます。

続きまして、(3) 措置要件の独占禁止法違反についてでございますが、課徴金減免制度の適用があった場合の措置期間を、2 分の 1 とする規定を追加いたしました。

続きまして、(4) につきましては、桑名市の締結する契約等から暴力団等排除措置要綱を、下請負人等からも暴力団排除が可能となるよう、一部改正を行い、その一部改正に伴いまして、措置基準の文言の改正及び追加を行いました。

続きまして、資料の 2 ページから 7 ページの新旧対照表について説明させていただきます。改正前と改正後を並べて記載しております。資料の 2 ページ、3 ページの「別表第 1 事故等に基づく措置基準」をご覧ください。全ての措置要件につきまして、期間の見直しを行いました。上段にあります虚偽記載につきましては、改正前の期間に短期を設け、そのほかの要件につきましては、改正前の期間のおおむね 2 分の 1 の期間へ短縮する見直しを行いました。

また、中段にあります契約違反の 4 から 6 につきましては、措置要件から削除し、それぞれ不正又は不誠実な行為か又は契約違反にて対応していくことになります。

続きまして、資料の 4 ページ 5 ページの「別表第 2 贈賄及び不正行為に基づく措置基準」をご覧ください。「贈賄」、「独占禁止法違反行為」、「入札妨害又は談合」、「建設業法違反」につきましては、地域区分を設け、その区分により、表のとおり期間の改正を行いました。

また、下段にあります「あっせん利得処罰法違反行為」につきましては、措置要件から削除し、「不正又は不誠実な行為」にて対応していきます。

なお、5 ページにございます「不正又は不誠実な行為」につきましては、改正はございません。

続きまして、資料 6 ページ 7 ページの「別表第 3 暴力的不法行為等に基づく措置基準」をご覧ください。先ほど、説明させていただきました「暴力団排除措置要綱」の一部改正に伴いまして、7 ページの下の方でございます、2 件を追加しております。下請け等との契約解除をしなかった場合は、3 カ月以上 6 カ月以内、及び通報義務を怠った場合の 1 カ月の措置要件を追加いたしました。

そのほかの項目については、要綱との整合性を図るうえで、文言の修正のみで、内容の改正はございません。

説明は、以上でございます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

この資料の 1 ページの主な改正内容で、(1) から (5) まで説明していただきましたが、(1) は、国や県の方向性に準じてという話ですが、(2) (3) (4) についても、当てはまるのでしょうか

か。

【事務局】

(2) の再犯加重措置の適用及び(3) 課徴金減免措置につきましては、国県に準じております。
(4) につきましては、三重県警との調整の中で契約等からの暴力団等排除措置要綱の改正を行ったことに伴いまして、文言の改正と措置要件の追加を行ったところです。

【委員長】

それでは、この説明につきましては、以上といたしたいと思います。

それでは、次に、議事の(2) 入札及び契約手続きの運用状況につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

(2) 入札及び契約手続きの運用状況について

【事務局】

入札及び契約手続きの運用状況について説明させていただきます。

資料の8 ページをご覧ください。誠に申し訳ございませんが、一番左の指名停止の理由の欄で、「きじ」という漢字に誤りがございまして、「生地」ですので訂正をお願いいたします。

それでは、①指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります平成30 年1 月から3 月の3 カ月の間に指名停止を講じました件数は3 件です。このうち、本市が独自に指名停止を講じました左側の2 件について説明させていただきます。左側から順番に説明させていただきます。

(有) 十一ヤ洋品店は、契約締結したエプロンの発注におきまして、生地の仕上がりが遅れたため、契約で定めた納期までに納品を行うことができませんでした。これは、桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第2 第7 号の不正又は不誠実な行為に該当しますので、1 カ月の指名停止措置を講じました。

次、2 件目ですが、平成29 年12 月27 日に三重県の桑名警察署長から服部テクノス(株)が、「暴力団等の排除措置要項別表第1 第4 暴力団等と密接な関係を有していると認められる場合」に該当するという事実を確認したと通知がありまして、暴力団又は暴力団員等と密接な関係を有していると認められたため、桑名市の締結する契約等からの暴力団排除措置要綱及び桑名市請負工事入札参加者指名停止基準の規定に基づきまして、指名停止を講じました。

期間は6 カ月を経過し、請負契約の相手方として適当と認められる状態となるまででございます。随時、桑名警察署と連携して情報共有を図ってまいります。

残りの1 件につきましては、三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市でも同等の措置を講じたものでございます。

次に、②の談合情報でございますが、対象期間において寄せられた情報はございませんでした。

説明は、以上でございます。

【委員長】

ただいまの報告について、ご質問、ご意見等がございましたら、お願いしたいと思います。

(3) 抽出事業の審議について

【委員長】

それでは、続きまして、議事の(3) 抽出事案の審議についての項目に移ります。

審議に先立ちまして、抽出案件3件について、説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔全委員が了承する。〕

それでは、関係者の出席を求めます。

〔関係職員の入室〕

【委員長】

それでは、審議にあたりまして、今回の3件の抽出理由につきまして、藤田委員から説明をお願いいたします。

【委員】

この3件につきまして、1件目は、発注金額が高額であるので選びました。

2件目は、随意契約であるというのと、それに対して落札率が高かったというので、審議してはどうかということです。

3件目は、リストを見ていましたら、不調案件が多かったので、あえて不調案件をいろいろ教えていただきたいと思って上げました。

抽出事案 1 星川送水管布設替工事（嘉例川水管橋）

【委員長】

それでは、第1案件です。「星川送水管布設替工事」について、発注担当課から工事概要を説明していただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札結果についての説明をお願いいたします。

【担当課】

上下水道部工務課でございます。座ってご説明をさせていただきます。お手元の資料の10ページをご覧ください。工事名は、星川送水管布設替工事（嘉例川水管橋）。工事場所は、桑名市星川地内ほか。設計金額は1億9709万2440円。工事期間は平成30年3月12日から平成31年3月15日までの2カ年にわたる工事となっております。

本工事は、七和地区にあります西部水源地から藤が丘地区にあります大山田東配水池に水を送る送水管でありまして、この管路は、旧桑名市地区における一日平均給水量約4万5千トンのうち、約27%に当たる1万2千トンの水を送る重要な基幹管路となっております。

同管路は、昭和50年に施工されまして、43年が経過したところですが、平成27年4月に水漏れを起こしまして、応急処置をしております。現在、進めております基幹管路の耐震化計画に合わせて、今回、更新を行うものでございます。

施工内容につきましては、先ほど、ご説明申し上げたとおり、施工する管路は非常に需要が高く、水の需要が少ない冬場においても、送水をとめることができない重要な管路でございまして、河川下流側に鋼管製の400ミリの仮設配管を設置して、雨等が少ない非出水期に、現在、使用中の鋼管製700ミリの水管橋を撤去し、代わりに材質に腐食に強いステンレス製の600ミリの水管橋を設置する工事となります。

以上です。よろしくお願いいたします。

【事務局】

事務局の上下水道部企画総務課の小林です。続きまして、発注公告と入札経過についてご説明を申し上げます。資料については、44ページの発注公告をご覧ください。入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札で、低入札価格調査制度試行案件となっております。

入札参加資格要件につきましては、土木工事業の特定建設業の許可業者であること。所在地条件は市内又は準市内業者とし、経審点数は市内業者は730点以上、準市内業者は1,000点以上で、発注業種の完成工事高が予定価格の2分の1以上であること。同種工事施工実績として、平成19年度以降、官公庁が発注した案件で、土木一式工事の施工実績を有することを求めています。

次に技術者要件につきましては、現場代理人と建設業法第26条に定める監理技術者、その他技術者として日本水道協会の配水管工技能講習、又は、日本ダクタイル鉄管協会の継手接合研修の受講者の配置を求めています。

ただし、低入札価格で契約を締結する場合に限り、これらのほかに、監理技術者に求める資格を有する専任の担当技術者を1名、追加配置をすることとしています。以上の要件をもって公告をいたしました。

続きまして、入札経過と結果でございます。資料は45ページをご覧ください。平成30年2月27日に入札を行いましたところ、3者から応札があり、開札の結果、全者が調査基準価格と同額の応札となりましたので、電子くじにより(株)カキトを落札候補者とし、事後審査を行った結果、適格でありましたので、当該事業者を落札者と決定し、税抜き価格1億6424万円で契約締結をいたしました。

以上でございます。審議のほどよろしく申し上げます。

【委員長】

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

【委員】

よくある議論ですが、調査基準価格と全く同じ価格に3者になっていて、くじ引きですが、3者とも調査基準価格というのを、最初から同じようなソフトを使っていれば、この値になるということで、こういうことになっているのでしょうか。

【事務局】

おっしゃるとおり、調査基準価格は、従来の入札における最低制限価格に近い価格になっておりまして、この調査基準価格の計算方法を公表しておりますので、どうしてもこの最低制限価格に近い調査基準価格の額周辺になってくるものと考えております。

【委員】

では、最低制限価格というのはないんですか。最低制限価格はどちらに載せますか。

【事務局】

低入札価格案件ですので、最低制限価格は定めておりませんで、そのために調査基準価格を定めております。

【委員】

その辺をフォローできていないです。低入札価格での契約になるのでしょうか。低入札価格の契約でない場合もあるんですか。低入札価格の場合は、技術担当者を1名追加するというのがありました。が、この場合は低入札価格になっている？

【事務局】

今回は調査基準価格での応札でしたので。この調査基準価格を下回りますと、低入札価格という形になって、追加の条件が出てきますから。今回の場合は調査基準価格以上の額で応札でしたので、そういう状態です。

【委員】

今、調査基準価格の計算方法を公開をしているとおっしゃいました。調査基準価格そのものは公表しているわけではないですね。

【事務局】

調査基準価格の公表はしておりません。

【委員】

が、その公表された計算方法で計算すれば、大体この価格に、こういう行為をする専門家が計算すれば、大体この価格になるということですか。

【事務局】

積算能力が高いところであれば、非常に近い数字は出てくるものと思われれます。

【委員】

わかりました。

【委員】

ちょっと違うお話になるのかもわかりませんが、低入札価格調査実施要綱の対象工事かどうかというのは、どういうふうに決めるんですか。

【事務局】

低入札価格の対象案件は、設計額が1億円以上の案件、又は、総合評価を採用した案件で適用をされます。それに満たない案件であっても、それと認められる場合には対応をしております。

【委員】

今、いただいた資料で失格基準価格の算定式というのをここに書いてありますが、こちらのほうは業者の方はわかっているんですか。調査基準価格の算定式、失格基準算定式の2つを入れて書いていただいているのですが。

【事務局】

公表をしております。

【委員長】

ほかにはございますか。

それでは、この案件につきましては、特に問題がないといたしたいと思います。

次に、第2案件。

【事務局】

上下水道部の出席者ですが、この後、公務で出張の用件がありまして、事務局の次長と工務課の担当者、退席をさせていただきます。申し訳ありません。

【委員長】

後の案件には関係ないんですね。わかりました。

抽出事案 2 都市・地域交通戦略推進事業（桑名駅周辺地区）に伴う費用便益分析調査等業務委託

【委員長】

それでは、次の第2案件です。「都市・地域交通戦略推進事業（桑名駅周辺地区）に伴う費用便益分析調査等業務委託」につきまして、発注担当課から委託概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札結果についての説明をお願いいたします。

【担当課】

第2案件につきまして、産業振興部駅周辺整備課から説明させていただきます。お手元資料の46ページの委託概要書をご覧ください。委託業務名は「都市・地域交通戦略推進事業（桑名駅周辺地区）に伴う費用便益分析調査等業務委託」でございます。

申し訳ございませんが、予算額の部分、496万8千円となっておりますが、これは落札金額を間違えて入れてしまいました。実際の予算額は700万円。設計額は498万3120円となっております。

履行期間は、平成30年3月20日から30日まででございます。

業務内容としまして、本業務は「社会資本総合整備計画桑名駅交通結節点整備計画」で位置づけられている「都市・地域交通戦略推進事業（桑名駅周辺地区）」の費用の整理を行い、便益項目及び便益算定方法の検討のうえ、便益を算定し、費用便益比を算定する業務です。

続きまして、資料 47 ページをご覧ください。47 ページでは位置図を添付させていただいておりますが、桑名市全域を示しておりますが、先にお話しました「都市・地域交通戦略推進事業」とは、今後の人口減少、少子高齢化社会の中、コンパクトなまちづくりを進めるうえで、ネットワークとなる交通施策について、中心拠点である桑名駅や、各地域の拠点である多度駅、長島駅などまちづくり一体となって桑名市全体で検討する業務のため、桑名市の全体図を添付させていただきました。

続きまして、48 ページ 49 ページには、先にお話しました「社会資本総合整備計画桑名駅交通結節点整備計画」を添付しております。

48 ページの 4 段目のところの目標にありますように、鉄道によって分断された桑名駅周辺において、桑名駅自由通路整備及び J R ・近鉄の桑名駅橋上駅舎化整備を行い、桑名駅の交通結節点としての機能強化や、駅周辺の利便性向上を図るものです。

続きまして、49 ページを見ていただきますと、2 段目から事業内容を記載しておりますが、1 つ目、市街地整備事業、これにつきましては、都市・地域交通戦略推進事業というものでして、J R ・近鉄の桑名駅橋上駅舎化事業について書いてあります。

その下、道路事業、これは街路事業というもので、桑名駅自由通路整備事業の 2 本が上げてあります。

なお、48 ページに戻っていただきまして、上から 2 段目、本計画の事業期間をお示ししてあり、平成 30～33 年度となっておりますが、実際、本工事は平成 29 年度から着手しており、当初、自由通路及び橋上駅舎化事業につきましては、ともに同じ事業メニューの街路事業で進めておりました。

ところが、昨年度、国との補助対象協議の中、橋上駅舎化事業については、街路事業では補助対象とならないため、この橋上駅舎化事業につきましては、都市・地域交通戦略推進事業で進めることとなったため、平成 29 年度末に、30 年度からの交通結節点整備計画として策定し直しました。

担当課からの業務概要等に関する説明は、以上です。

【事務局】

続きまして、事務局より見積もり経過及び結果を説明させていただきます。51 ページをご覧ください。平成 30 年 3 月 14 日に見積もり合わせを行いまして、指名業者の（株）国際開発コンサルタント名古屋支店から見積もりを徴しましたところ、予定価格の範囲内でしたので、税抜き 460 万円で契約を締結いたしました。

説明は、以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお受けいたします。

【委員】

国際開発コンサルタントは、現在、進めているものがあって、交通戦略の業務が別途、分かれたということですか。分かれて同じ業者に委託することになったという、そのあたりの経緯をもう少しお願いします。

【担当課】

もともと、この交通戦略事業というものにつきましては、計画策定は昨年度、国のほうが補助メニューの見直しという話で協議の中、国際開発コンサルタントと契約を行って、桑名駅を含む桑名市全体での交通施策の検討を行ってきたところです。

実際、補助メニューの見直しが決定したのが年明けになりまして、30 年度からこの橋上駅舎化を進めるのであれば、費用便益調査というのが不可欠という状況となりましたので、別途、同じ随契で結ばせてもらったところです。

【委員】

じゃ、当初は費用便益は必要なかったけれども、補助メニューの変更で追加が必要になったということではないんですか。

【担当課】

補助メニューの変更がまだ確定してなかったということで、当初は想定しておりませんでした。確定した段階で30年度に必要ということで追加したということです。

【委員】

専門に近いので。費用便益というのは、何に対する、どこの費用に対するどの便益を考え費用便益分析というのでしょうか。

【担当課】

費用便益というのは、まず当該事業にかかる費用を各橋上駅舎化事業桑名駅自由通路整備事業等を積み上げていきまして、それに対して、その事業をやることによって、どんな便益が上がるのかというのを積み上げております。

具体的に便益のお話をさせていただきますと、この自由通路と駅前広場、あと、橋上駅舎が整備されることによって、今より歩行者の方が、どれだけ距離が短縮して利便性が上がるとか、あと、車が今、東側のほうへ行っている形がメインになっているのですが、西側にも駅前広場が整備されることによって、西側から来る車の利用者の方が短縮される時間、そういったものを便益として費用化したうえで、実際かかった費用と、実際積み上げた便益を比較して、費用便益を求めるものになっております。

【委員】

今、言われたような費用便益を算定するわけですが、それは10日間ぐらいでできるんですか。

【担当課】

先ほど、説明させてもらった内容もありますが、今回、随意契約という形で、もともと、この駅周辺も含めて交通整備について精通している業者です。

実際、この費用便益の計算をしようと思いますと、各種基礎データ等の役務も関して、データ収集等、その費用であったり、便益に置きかえて計算するという業務ですが、そういう中で、もともと精通して基礎データもある程度、把握していたということで、何とか年度内に完了することができたということで認識しております。

【委員】

ということは、もともと今回、随意契約をした事業者は、費用便益に関する基礎の資料を持っておるから10日間できるということですか。

【担当課】

もともと交通戦略という計画づくりの中で、各種基礎データというのは収集、整理していきます。ですので、ラップするということはおかしいですが、そういう形で活用も含めてできたのかということで、工期の短縮ができたかと認識しております。

【委員】

よくわからないというのは、もともとコンサルがそういった費用便益の比とかいうものは、既に計算をするための基礎のデータを持っていて、それを改めて補助事業をするための資料として要るから、それを出してくださいということで、改めて調査をする必要はほとんどないということですか、そうすると。

【担当課】

改めてといいますと、全てが全てとはいいがたい部分がありますが、もともと、交通戦略という計画策定の中では、現状分析等を桑名市の交通現状分析や桑名駅の交通の課題等々を整備しております。

そういう分析の中で、必要なデータを抜き取って調査、費用便益費用を算定したという形で、もともと費用便益を想定して調査をしてきたのではなくて、たまたま利用できるものを使ったということもできたものですから、工期を短縮できたと考えております。

【委員】

工期短縮ということがあって、もちろん、もともと持っている情報であっても、それなりの形を整えて、資料として出すのには、当然、手間暇もかかるということですが、この予定価格はどのように算定されたのですか。

【担当課】

予定価格は、3者から見積もりを取っております。3者見積もりの結果、一番低額な金額を設定させていただきました。

【委員】

その3者の中に、この国際開発コンサルタンツも入っているんですか。

【担当課】

入っております。

【委員】

ということですね。

【委員】

実際、この業務に関連しては、新たに調査をするとか、そういうことは発生しなかったという感じですね。既存の持っていたデータを再編集することで済んだという感じですね。

【担当課】

ほぼほぼ、既存データからデータを抜き取ってということできたということで聞いております。

【委員】

もう一つ伺います。これって国の補助事業とすることができたわけですが、補助金とはどれぐらい出るものですか。

【担当課】

この橋上駅の部分につきましては、交通戦略推進事業という分ですが、国から補助対象となる金額の3分の1です。

【委員】

額の妥当性に難しいものがあります。ちなみに参考までにほかの2者さんはどれぐらいの額を出してきたのですか。

【担当課】

実際、3者、見積もりを取りましたが、他の2者につきましては、約1割程度高い金額になっております。

【委員】

これって、今やっている立地適正化計画とか、その辺の事業の一貫になったという。

【担当課】

担当課ですが、立地適正化計画というのは、桑名市のコンパクトなまちづくりを進めるということで、桑名駅を中心拠点にして、各地域、拠点を設けるという、都市機能を集積させるという部分でありまして、この交通戦略推進事業では、それをネットワーク、交通施策で結ぶということで、一体となって初めてこの都市計画が動いてくるものになっております。ですから、コンパクトプラスネットワークという形で連携を図っていく形になっていきます。

【委員】

部分と考えればいいんですか。適正化の計画の中の一部で交通戦略推進事業があるというのは、また別々のことですか。

【担当課】

どちらかというと、立地適正化計画は都市機能を集積させる、そこまでのアクセス、ネットワークを図るのが交通戦略推進事業で、一対となって、初めてまちづくりという形で、下位計画というより対等な計画の位置づけになっております。

【委員】

もう一つ聞きますが、線路があって、今まで分断されていたのを、両方往来できるようにするような計画になったんですね。今までそういうところはなかったんですかね。駅の中を移動することはできても、駅以外のところで、あとは線路、踏切を渡らないとしようがなかったのですか。

【担当課】

もともと今の桑名駅につきましては、駅の構内を通過して、もし通るのであれば、駅利用者以外であれば入場券で通過しておりました。

今回、自由通路整備事業につきましては、あくまでも歩行者専用道路として整備します。そこに付随する形で駅舎ができていくという形で、自由に往き来ができる形になっています。

ちなみに現時点、桑名駅周辺につきましては、3カ所程度、踏切がありますが、以前から交通、歩者が構内に混在して危険だとか、狭くて危ないという意見をもらっておりまして、今回、この東西の歩行者動線を確保するという意味で自由通路整備事業を進めていくことになっております。

【委員】

ちょっと話が戻ってしまいますが、3者からそれぞれもらった見積もりの仕方の中身は、どういうイメージですか。

【担当課】

3者に同等の仕様を渡させていただきまして、当然同じ成果が出るような形で依頼をさせていただいたうえでの見積もり徴収をさせていただき、結果を出しています。

【委員】

額だけが出てきた。

【担当課】

当然、見積もり金額だけではなくて、内訳書も添付していただいております、分析した結果になっております。

【委員】

私も昔、研究所にいて、いろいろ自治体の委託がいっぱいありましたが、見積もりするときって、新たな調査が発生したら、その調査の手間暇とか、あと、既存のデータをまとめるんだと、それににかかるマンパワーとか日数とか人数で積み上げてくるんですね。そういう形になっているんですか。

【担当課】

もともと、設計というのは、各社そうですが、直接人件費というより、業務にあたる人工数、それが直接の業務委託で出てくるんですが、あと、そこにプラスアルファして、会社の直接経費とか交通経費等を積み上げております。ですので、言われるように業務に関する人工を個々に出してもらったうえで積み上げた金額になっております。

【委員】

見積もり合わせをしているんですが、この場合も随意契約になる、こういう場合でも。一般入札とは、見積もりというのがどういう位置づけになるのか、よくわからない。

【担当課】

あくまでも、今回の発注に当たって、随意契約とは、設計金額をはじかなければいけません。その段階で、見積もり、参考といっちはなんですが、見積もりを取ったうえで金額を決定するということで、3者、見積もりを取らせていただきました。

【委員】

例えば、たまたま向こうが3者として一番高い額とか出してきたら、どうなるのですか。なりますわね。そこら辺の考え方を整理されておいたほうがいいんじゃないですか、すっきりして。

【担当課】

今回はたまたまそういう形でいい結果でしたが、今後、その辺につきましても検討をして、あくまでも今回、見積もりは参考のための見積もりを取らせていただいておりますので、高ければ、逆

に発注の仕方も考えなければいけないのかなと考えております。

【委員長】

それでは、この案件につきましては、特に問題なしとしますが、これは永遠の課題と言えば課題ですが、こういうコンサルタントの業務というのは、なかなか価格という考え方については、難しいので、常に研究をしていただいてと思います。

では、最後の第3案件です。「市道東金井10号線道路修繕工事」について、発注課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注工事の内容と入札結果についての説明をお願いします。

抽出事案 3 市道東金井10号線道路修繕工事

【担当課】

審議案件3の発注元でございます土木課の佐藤でございます。よろしくお願いします。

本工事につきましては、工事名「市道東金井10号線道路修繕工事」、設計金額につきましては60万4800円。当初工期といたしまして、平成29年12月26日から30年2月24日までとさせていただきます。工事概要につきましては、桑名市内大字東金井地区に存在いたします東金井10号線の市道東金井10号線の延長約14メートルの箇所の道路の雨水を集積いたします道路側溝を延長13.3メートル、及び、それを集水いたします集水枡といたしまして500角の集水枡を1基、整備するものといたしております。

簡単ではございますが、工事概要は以上でございます。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過について説明させていただきます。資料の55ページをご覧ください。入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。入札参加資格要件につきましては、土木工事業の許可業者であること。所在条件は市内までとし、経審点数は649点以下。発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。同種工事施工実績は、経審点数が649点以下で、完成工事高が要件を満たさない場合、又は、経審点数が650点以上で、完成工事高要件により250万円以上の工事に参加できない場合に該当する市内業者のみ、平成19年度以降の官公庁が発注した案件で、土木一式工事の施工実績を有すること。

次に、技術者要件としまして、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、56ページをご覧ください。平成29年12月13日に入札を行いましたところ、入札参加者がいないため不調となりました。

次に、57ページをご覧ください。不調となりましたので、履行期間の変更及び入札参加資格要件の緩和を行い、再度、入札を実施いたしました。

発注公告につきましては、先ほど、説明をさせていただきました前回からの変更点のみ説明させていただきます。3点ございます。まず、1点目ですが、履行期間を60日間から45日間へと変更しております。

次に、2点目、経審点数の要件をなくしました。

次に、3点目ですが、経審点数をなくしたことに伴い、同種工事实績にありました経審点数の要件をなくし、その3点を変更し公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、58ページをご覧ください。平成30年1月10日に入札を行いましたところ、再び入札参加者がいないため不調となりました。

次に、資料59ページをご覧ください。この一覧表のとおり、先ほど、説明させていただいた工事を含め、今回の審議対象期間であります平成30年1月から3月の3カ月の間に、9件の案件につき

まして、入札参加者がいないため不調となりました。

工事内容別の件数は、道路修繕工事が3件、道路改良工事1件、災害復旧工事4件、水路修繕工事1件でございます。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見等ありましたら、よろしくお願いいたします。

【委員】

入札案件参加者がいない案件が、この工事リストの中で結構目立ちましたので、全体として、これだけ入札参加者がいなくて不調で終わっているということに対して、どういようなことを考えていらっしゃるのかということと、今後、どうしようというような、何か対策というか、考えがあるのかというのをお聞きしたいと思っております。

【担当課】

土木課の佐藤でございます。不調に終わった要因といたしましては、年度末から年始に向けて、やはり入札が過密になったことが要因かと考えられます。どうしても、農業用水関係について、時期を外すことによって、やむなく年度末に近い形での発注を除きまして、今後の対策といたしましては、可能な限り、上半期での発注に努めていきたいということで、土木課のほうとしては対応していきたいと考えております。

【委員】

これ、今回の案件については、2回行われましたが、2回目は履行期間が60日だったのが45日間になって、かえって厳しくなっていて、ということですが、先ほど、言われたお話ですと、今後はもっと時期をずらして、全然違う時期にやるということにされるという。

【担当課】

土木課の佐藤でございます。まず、60日と45日の差異については、当初は年末年始を含むということで、おおむね15日間の猶予を出している。

今後の対応につきましては、委員おっしゃるように時期をずらした形で考えていきたいと考えております。

【委員】

予定価格を例えば上げて、工事を請けることによって業者の方がもっと潤うような形にするとか、そういうことはあまり考えられないと。

【担当課】

やはり歩掛上の必要なそれぞれの報酬がございますので、必要以上に報酬を増やすということは、なかなか考えにくいかと考えます。

【委員】

わかりました。ただ、59ページの不調に終わったものの中には、ほとんどが新たに道路を造るかいうのではなくて、直すものとか、災害復旧であるとかということでございますので、これが不調に終わって、その工事に着工できないとなると、その付近の方は、非常にお困りになるのではないかと思います。そうしたのを見ますと、100万、120万、高いものでも189万円ですから、200万円ぐらいの工事ですが、そのことによって市民の皆さん方の生活に非常に不便を与えたり、あるいは、川の災害復旧工事ですと、それを放置したことによって、新たな災害が発生することも懸念されるわけですので、不調を避けるために発注時期をずらして、半年も放っておくのかという話にもなりかねませんので、そういう入札に喜んで参加していただくための方策というのは、何か考えないといけないんじゃないかという気がしましたので、老婆心ながらいいですか。

【担当課】

委員おっしゃるとおり、この金額ないし、工事内容に伴いまして、それぞれの工事を合わせる、もしくは、金額に応じた工事の内容を精査いたしまして、緊急性を要するということも含めて対応し

ていきたいとは考えております。

【委員】

素人的に考えると、不調に終わったからといって、資格要件を緩和するというの、資格要件を設けているもともとの意味というのは、工事の質を担保することなので、ちょっとおかしい気がします。

むしろ、さっきも出ましたが、価格を少しモチベーションが上がるようにするほうが、内容から言うと、自然のような気もしますが、なかなか難しいですね。

【委員】

繁忙期に、更に復旧工事で無理して工事してくれという場合は、ちょっと違う価格設定があってもいいのかなという気もしますが、どの程度がいいのかよくわかりませんが。それであまりにも高くなるのもどうかと思いますが、先ほどの住民の方の費用便益でもないですが、不便が非常に大きくなって、住民の方の不便益を考えると、少々、通常よりは高くなるような設定でも仕方ないところもあるのかもしれませんが。難しいとは思いますが、あまり高くなるのもなんですから、ご検討ください。

【委員長】

それでは、この案件自体につきましては、特に問題なしといたしますが、今、ずっとお話に出ているように、それぞれの工事の緊急性ですとか、工事の内容を精査していただいて、また、よりよいものを常に研究していただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして、抽出事案の審議を終了いたします。発注担当課様は、ここで退席をしていただきます。どうもありがとうございました。

次回の審議案件の抽出は、順番により伊藤委員となりますので、よろしくお願いします。

次に、(4) その他ですが、何かございますか。事務局のほうからは、ありませんか。

【事務局】

特にございません。

3 閉 会

それでは、これにて平成 30 年度第 1 回の桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。

なお、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。本日は、ありがとうございました。